

福岡県福祉サービス第三者評価の結果

【第三者評価機関】

名称	特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ		
所在地	〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目6番5号		
TEL	(0952) 41-6522	FAX	(0952) 41-6524
訪問調査日	平成22年8月19・20日	評価調査者 登録番号	07-a00013 07-b00008

【福祉サービス事業者・施設基本情報】

法人名称	しゃかいふくしほうじん ひかりかい		
	社会福祉法人 光会		
法人の 代表者名	りじちよう やまと いくお 理事長 大和 郁雄	設立年月日	昭和・平成 55年 11月 1日
	しょうひかりほいくえん 庄ひかり保育園		施設 種別
施設所在地	〒811-3117福岡県古賀市今の庄二丁目4番1号		
施設長名	やまと みつよ 大和 美津代	開設年月日	昭和・平成 18年 4月 1日
	TEL		(092) 943-3531
Eメール アドレス	sho@hanamihikari.com		
ホームページ アドレス			
定員	90名・世帯（現員105名・89世帯） ※該当を○で囲む		

【評価結果】

1 総 評

(1) 特に評価の高い点

- I. **自然とのふれあいや社会との関わりを大切に考えた保育に取り組まれています。**

当保育園は、市役所の近くといった市の中心的な場所に位置していますが、自然にも恵まれており、草花や虫はもちろん、カニなども敷地内で目にする機会があるなど、子どもたちにとっては好奇心を満たす環境にあるようです。園内ではメダカやクワガタ虫の飼育のほか、野菜を育てて食べるなど自然とのふれあいを大切に考えた活動が行われており、子どもたちの興味や関心を集めているようです。季節を感じ、自然の中で過ごせる日々の散歩や川遊び、山登りなど自然とのふれあいを積極的に保育に取り入れた活動は、当保育園の特徴の一つと言えます。また、JRや西鉄電車を利用した太宰府天満宮参拝や九州国立博物館見学は、公共の場でのマナーの習得や文化に触れる機会となるよう配慮された活動であり、園外保育への積極的な取り組みが見受けられます。

その他、当保育園は、兄弟姉妹が少なくなっている家庭環境を踏まえ、年齢の異なる子ども同士の間での関わり合いの中で、社会性を身に付ける保育にも力を注がれています。
- II. **健康的な身体づくりを目指した食育に取り組まれています。**

当保育園の給食は、“子どもの身体の安全を守る”といった思いから、玄米や胚芽米、無農薬・低農薬野菜、自然醸造の調味料などを使い、食材の有する味を大切にしながら伝統的な和食を中心にサイクルメニュー[※]での提供が行われています。給食時には、自分の食べる量を子ども自身が調節できる配膳方法をとられるなどの工夫も見受けられます。食べる空間を活動空間と区別するために、多目的ホールを仕切り、天井にシェードを張るなど雰囲気づくりに配慮された食事スペースは、調理室にも隣接しており、子どもたちは保育士と調理の職員に見守られながら食事を楽しんでいます。

味噌や梅干、らっきょ、梅ジュースなどを子どもたちと職員と一緒に作り、食べる活動が定着しており、子どもたちも自分たちの手で作ったものを口に運べる喜びを味わっているようです。また、これら手づくりのものの食材は、地域の方々のご好意によるものも多く、“地域とともに子どもを育む”といった当保育園の保育理念に通じる活動とも言えます。
- III. **地域の子育て支援にも力を注がれています。**

公立から民間になって4年が経過した保育園ということもあり、新しい体制づくりや保育サービスへの取り組みの中で、多くの努力を積み重ねられています。園長は、当保育園の理念の実現を目指して、懇談会を繰り返すなど、保護者や地域に理解を求める活動を展開されています。“地域の子どもの居場所づくり”を大切に考え、一時保育や園開放（あそびの広場）、出前保育、学童保育などにも取り組まれ、別棟には一時保育専用の部屋を設置するなど、快適な保育環境の整備も行われています。また、地域の未就園児の保護者のニーズに目を向けた新しいサービスを計画されるなど、地域の子育て支援に積極的に取り組む姿勢がうかがえます。

[※] サイクルメニューとは…一ヶ月の中で同じメニューが二回提供されることで、初めてで食べられなかったものも二回目には食べられるようになるよう配慮された献立

(2) 改善を求められる点

- i. 中・長期計画を踏まえた単年度計画の策定が求められます。**

理念・基本方針の実現に向け、中・長期的な計画が策定されていますが、より具体的な単年度の事業計画の策定については十分とは言い難い状況がうかがえます。新サービスへの取り組みや人材の確保・養成などについて、園長の構想の中にあるプランを職員とともに検討し、より具体的な単年度の計画として明確にされること、および、職員や保護者、地域の人々の理解を得て共に計画の実現を目指されることが求められます。また、策定した単年度の計画については、評価・分析および見直しを繰り返し、中・長期計画に掲げたビジョンの実現を目指されることを期待します。
- ii. 一人ひとりの職員の育成に関する具体的な教育・研修計画の策定を期待します。**

外部の研修については、行政や保育連盟等が主催するものを中心に、職種や経験、本人の希望等を踏まえた受講が行われています。受講した職員は、受講後に研修報告を行うなど、研修内容の職員間での共有化や評価も行われています。個々人の育成システムとしては、自分で立てた目標の達成を目指す目標管理制度が導入されていますが、具体的な教育・研修計画の策定には至っていない状況が見受けられます。今ある目標管理制度を人事考課で把握されたスキルや課題、個別面談等で把握された本人の意向等を踏まえて、より具体的な個々人の教育・研修計画の策定につなげ、効果的な職員育成に結び付けられることを期待します。
- iii. 定期的なサービス内容の評価に基づく改善活動が求められます。**

サービスの質の向上や改善については、各種会議等で検討され随時取り組まれている状況です。定められた基準に基づく定期的な評価についても取り組まれ始めた段階で、その結果に応じた改善への計画的な取り組みが今後の課題と言えます。今回の第三者評価受審を機に、定期的な自己評価と第三者評価への取り組みを期待します。

2 第三者評価の結果に対する事業者のコメント

(H22.10.4)

現状、第三者評価受審率（全国の保育所の受審率）が3～4%（平成21年度実績）と云われる中で、古賀市の方針に基づき当園がその対象となりました。このことを好機と受け止め、変に構える事なく自然体で受審し、その結果を心待ちにしていました。

当園の独自性（a. 子ども達の豊かな感性、心情や意欲、態度を育む b. 食育 c. 地域の子育て支援）や保育の質に対し、一定の評価を得られたことは今後の自信に繋がると同時に、これまでの努力が報われた思いです。

保育園の役割や社会的責任をより果たしていくためにも、更なる保育サービスの質の向上や職員の資質向上、更に組織力の強化等をこれからの重点課題として取り組んでいきたいと思っています。

3 共通評価基準及び個別評価基準の評価項目による第三者評価結果（別添）

【保育所】 個別評価基準 評価項目（全91項目）の評価結果

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

【I-1-（1） 理念、基本方針が確立されている。】			評価結果	コメント
1	I-1-（1）-①	理念が明文化されている。	①・b・c	■“地域と一体となって「望ましい未来」を作り出す力をもった子どもたちを育成する。”という文面を含む理念と、“子どもの発育の保障”“就労と子育ての支援”“地域との連携”の3つの視点を明示した保育の方針が掲げられています。
2	I-1-（1）-②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	①・b・c	
【I-1-（2） 理念や基本方針が周知されている。】			評価結果	コメント
3	I-1-（2）-①	理念や基本方針が職員に周知されている。	①・b・c	■職員には年度初めの全体職員会議や日常的な各種会議において資料を用いた説明が行われています。 ■保護者には入園式や懇談会の機会に「ご利用にあたって」（園の説明用資料）を用いた説明が行われています。
4	I-1-（2）-②	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	①・b・c	

I-2 計画の策定

【I-2-（1） 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。】			評価結果	コメント
5	I-2-（1）-①	中・長期計画が策定されている。	①・-・c	■理念・基本方針の実現に向けた中・長期計画が策定されています。しかし、事業計画は、行事計画に偏っており、中・長期計画に沿った事業計画の策定には至っていない状況です。
6	I-2-（1）-②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a・-・C	
【I-2-（2） 計画が適切に策定されている。】			評価結果	コメント
7	I-2-（2）-①	計画の策定が組織的に行われている。	a・b・C	■中・長期計画を踏まえた事業計画が、職員参画のもとで策定され、その評価・見直しを通じて将来のビジョンの実現を目指されることが求められます。
8	I-2-（2）-②	計画が職員や利用者等に周知されている。	a・b・C	

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

【I-3-（1） 管理者の責任が明確にされている。】			評価結果	コメント
9	I-3-（1）-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	①・b・c	■園長は、園の説明用資料の中で“地域と共に子育て支援に取り組む”姿勢を明確にされ、福祉分野を中心に法令遵守に向けて積極的に取り組まれています。しかし、幅広い分野の法令等の遵守に向けた取り組みは今後の課題と言えます。
10	I-3-（1）-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a・b・c	
【I-3-（2） 管理者のリーダーシップが発揮されている。】			評価結果	コメント
11	I-3-（2）-①	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a・b・c	■質の向上や業務の効率化などに向けての意欲は感じられますが、その仕組みの構築などについては、十分とは言えない状況がうかがえます。評価・分析に基づく改善活動の仕組みの構築が望まれます。
12	I-3-（2）-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a・b・c	

Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ－１ 経営状況の把握

【Ⅱ－１－（１） 経営環境の変化等に適切に対応している。】			評価結果	コメント
13	Ⅱ－１－（１）－①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	㉔・b・c	■社会福祉事業の動向や福祉サービスへのニーズは、行政との関わりや子育て支援等の中から得られた情報により把握されています。しかし、経営といった視点においては、質の向上の視点に比べ意識が高いとは言い難く、外部監査についても会計記帳業務を外部の専門家に依頼されていますが、外部監査が実施されているとは言い難い状況がうかがえます。
14	Ⅱ－１－（１）－②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a・㉔・c	
15	Ⅱ－１－（１）－③	外部監査が実施されている。	a・㉔・c	

Ⅱ－２ 人材の確保・養成

【Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。】			評価結果	コメント
16	Ⅱ－２－（１）－①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a・b・㉔	■人材に関する基本的な考え方は明示されていますが、具体的なプランの策定には至っておらず、人事考課についても、個人別目標の設定など積極的な取り組みが見受けられますが、客観的で具体的な考課基準の設定については今後の課題と言えます。
17	Ⅱ－２－（１）－②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a・㉔・c	
【Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。】			評価結果	コメント
18	Ⅱ－２－（２）－①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a・㉔・c	■個別面談を実施され職員の意向把握に努められていますが、具体的な就業状況の分析・検討には至っておらず、メンタル面のサポート体制にも今後の課題が見受けられます。福利厚生については、福利厚生センターに加入されています。
19	Ⅱ－２－（２）－②	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	㉔・b・c	
【Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。】			評価結果	コメント
20	Ⅱ－２－（３）－①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	㉔・b・c	■教育・研修に関する基本姿勢は、園の説明用資料に明示されており、行政や保育連盟等の研修を中心に受講されています。職員一人ひとりの教育・研修計画としては個人別目標管理の仕組みが見受けられますが、教育・研修計画の仕組みとしては、スキルや職員の意向などを踏まえより具体的な取り組みが望まれます。法令等の理解を深めるための研修は、保育分野や人権、個人情報保護などの受講が見受けられますが、法令等のリスト化など更なる取り組みを期待します。
21	Ⅱ－２－（３）－②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され、計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a・㉔・c	
22	Ⅱ－２－（３）－③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a・㉔・c	
23	Ⅱ－２－（３）－④	職員に対して、遵守すべき法令等を正しく理解するために研修を行っている。	a・㉔・c	
【Ⅱ－２－（４） 実習生の受け入れが適切に行われている。】			評価結果	コメント
24	Ⅱ－２－（４）－①	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a・㉔・c	■実習生の受け入れは、担当者を定め、熱心に取り組まれています。基本的な意義や方針の明文化には至っていません。また、実習プログラムや計画の策定に関しても更なる検討が望まれます。
25	Ⅱ－２－（４）－②	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	a・㉔・c	

Ⅱ－3 安全管理

【Ⅱ－3－（1） 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。】			評価結果	コメント
26	Ⅱ－3－（1）－①	緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	㉑・b・c	<p>■緊急時対応マニュアルを整備され、担当者を定めて取り組まれています。ケガ等への対応もきめ細やかに行われています。取り組みとしては、事例に基づく研修の実施や施設・遊具の安全に関するチェックリストを作成し、その活用により事故防止に努められています。</p> <p>■災害に関してもマニュアルが整備され、定期的に災害・地震等避難訓練や安全教室が実施されています。</p>
27	Ⅱ－3－（1）－②	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	㉑・b・c	
28	Ⅱ－3－（1）－③	災害等の発生時における防災体制が整備されされている。	㉑・b・c	

Ⅱ－4 地域との交流と連携

【Ⅱ－4－（1） 地域との関係が適切に確保されている。】			評価結果	コメント
29	Ⅱ－4－（1）－①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	㉑・b・c	<p>■“地域と一体となり子どもを育む”といった基本的な考えに基づき、日常的な交流や園の行事案内が行われています。また、就園前保育や学童保育、園開放（あそびの広場）など地域の子育て支援にも積極的に取り組まれており、子育てに関する講演依頼にも応じられるなど、地域との関係を大切にされています。ボランティア受け入れについては、マニュアルの整備等が課題として挙げられます。</p>
30	Ⅱ－4－（1）－②	事業所が有する機能を地域に還元している。	㉑・b・c	
31	Ⅱ－4－（1）－③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・㉑・c	
【Ⅱ－4－（2） 関係機関との連携が確保されている。】			評価結果	コメント
32	Ⅱ－4－（2）－①	必要な社会資源を明確にしている。	㉑・b・c	<p>■園にとって必要な関係機関一覧表を全職員がわかりやすい場所に掲示されています。また、「幼保小連絡会」においてそれぞれに対する要望を出し合うなど積極的な連携も見受けられます。</p>
33	Ⅱ－4－（2）－②	関係機関等との連携が適切に行われている。	㉑・b・c	
【Ⅱ－4－（3） 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。】			評価結果	コメント
34	Ⅱ－4－（3）－①	地域の福祉ニーズを把握している。	㉑・b・c	<p>■園長自ら民生委員の会合に出席し、地域の福祉ニーズの把握に努められています。様々な子育て支援活動の中でもニーズが把握され、一時保育や学童保育などニーズに沿った取り組みが行われています。</p>
35	Ⅱ－4－（3）－②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	㉑・b・c	

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

【Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。】			評価結果	コメント
36	Ⅲ-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	㉠・b・c	■一人ひとりの子どもを尊重する姿勢が、園の説明用資料に明示されており、理念・基本方針とともに年度初めの職員全体会議および各種会議において職員に周知されています。 ■利用者のプライバシー保護については、子どもへの対応に関する日常的な配慮はうかがえますが、マニュアルの整備に関しては、更なる充実が望まれます。
37	Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a・㉠・c	
【Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。】			評価結果	コメント
38	Ⅲ-1-(2)-①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	a・㉠・c	■保護者との良好なコミュニケーションを重要視する姿勢が園の説明用資料に明示され、懇談会や個人面談の場で意向の把握に努められています。課題としては、保育サービス全般に関する満足度調査など、より積極的な取り組みが挙げられます。
39	Ⅲ-1-(2)-②	利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	a・㉠・c	
【Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。】			評価結果	コメント
40	Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	㉠・b・c	■意見・要望の受付担当者などが明示されているとともに相談相手を選ぶ旨の説明が付されています。また、第三者委員の設置についても園の説明用資料に明示されており、対応マニュアルも整備されています。意見や苦情に対しては会議等で検討がなされ、必要に応じて園だよりに公表される仕組みがあります。
41	Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	㉠・b・c	
42	Ⅲ-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	㉠・b・c	

Ⅲ-2 サービスの質の確保

【Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。】			評価結果	コメント
43	Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a・㉠・c	■サービスの質の向上のための提案などを職員に求める機会が、各種会議や個人面談など定期および随時の取り組みが見受けられます。しかし、定められた評価基準を用いた評価に基づく改善活動は、取り組みが始まった段階であり、課題の抽出および計画的な改善活動には至っていない状況です。
44	Ⅲ-2-(1)-②	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a・b・㉠	
45	Ⅲ-2-(1)-③	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a・b・㉠	
【Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。】			評価結果	コメント
46	Ⅲ-2-(2)-①	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a・㉠・c	■市販の書籍等をマニュアルとして活用されている部分が多く見られます。園独自の取り組みやプライバシーへの細やかな配慮を含め、園の状況に応じた文書化を期待します。 ■また、その周知に関しては、2カ月に一回の園内研修において行われ、職員の意見を反映させるように努められていますが、定期的な見直しには至っていない状況です。
47	Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立されている。	a・㉠・c	

【Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。】			評価結果	コメント
48	Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	㉑・b・c	■記録は、記入者によってバラツキが生じないよう複数人によるチェックの仕組みが機能しており、丁寧に行われています。記録やデータの管理にも配慮されていますが、規程等に基づく管理には至っていない状況です。職員が共有すべき子どもに関する情報については、ケース会議のほか、回覧や掲示板の活用がなされています。
49	Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録・データを含めた個人情報の管理体制が確立している。	a・㉑・c	
50	Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	㉑・b・c	

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

【Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。】			評価結果	コメント
51	Ⅲ-3-(1)-①	利用者希望に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	㉑・b・c	■園を紹介したリーフレットを市役所等に置いたり、見学者に手渡したり、利用希望者への情報提供に努められています。利用開始時には、園の概要やサービス内容をわかりやすく整理した説明用資料を用いて説明も行われています。
52	Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	㉑・b・c	
【Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。】			評価結果	コメント
53	Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・㉑・c	■市内においては、幼保小の連携が図られており、卒園や転園に際して情報提供がなされる関係が築かれています。しかし、市外の保育園等についての対応や、卒園・転園後に相談を受ける体制についての保護者への情報提供は今後の課題と言えます。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

【Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。】			評価結果	コメント
54	Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	㉑・b・c	■子どもの身体状況や生活状況は、ヒアリングにより把握され、アレルギーの子どもに対しては、調理関係の職員を含めたチームとしての対応も見受けられます。しかし、抽出された課題等の明示については今後の課題と言えます。
55	Ⅲ-4-(1)-②	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a・㉑・c	
【Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。】			評価結果	コメント
56	Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	a・㉑・c	■保育士以外の職員の意見や保護者の意向も踏まえて指導計画が策定され、定期的な評価・見直しが行われています。しかし、子ども一人ひとりに着目した計画の策定については今後の課題と言えます。
57	Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	㉑・b・c	

A-1 子どもの発達援助

【A-1-(1) 発達援助の基本】			評価結果	コメント
58	A-1-(1)-①	保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	㉠・b・c	<p>■保育の計画は、保育所保育指針の趣旨をとらえ、保育の基本方針に基づいて作成されています。更に、懇談会等で把握した保護者の意向も考慮されています。</p> <p>■指導計画については、評価を複数の職員で定期的に行い、次の指導計画へ反映されています。</p>
59	A-1-(1)-②	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	㉠・b・c	
【A-1-(2) 健康管理・食事】			評価結果	コメント
60	A-1-(2)-①	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアル等があり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a・㉠・c	<p>■既往症や予防接種などの健康に関する情報を把握し、関係職員で共有されています。登園時には子どもの健康状態の把握に努められ、体調が優れない場合には、保護者から細やかに話を聞いたうえで対応するよう心がけられています。しかし、健康管理マニュアル等の整備には至っていない状況です。</p> <p>■健康診断・歯科検診は定期的に行われ、必要に応じて、その結果を保護者に文書で伝えられています。また、職員で共有するとともに保育へも反映されています。</p> <p>■感染症に対するマニュアルが整備され、感染症発生時には、保護者に対しても感染症の発生状況と予防策・対応策が掲示板等により通知される仕組みになっています。</p> <p>■食事の場所は、活動空間と区分された部屋が確保され、天井にはシェードが張られるなど雰囲気作りにも配慮されています。異年齢グループでの食事やクッキング、戸外での食事、行事食など様々な工夫が凝らされており、子どもたちが食べる量を自分で調節できる配膳方法もとられています。和食を中心に、玄米や無農薬・低農薬野菜、無添加のものが使用され、献立は旬の食材を中心としたサイクルメニューとされています。おやつも手づくりこだわり、子どもと調理の職員が日常的に関わる環境も整備されています。家庭との連携については、献立表の配付やサンプル食の展示がなされ、食材や食器の安全性について実物を示しながら説明される機会も設けられています。</p> <p>■アレルギー疾患を持つ子どもには、医師の指示に基づき除去食の提供が行われ、他の子どもたちとの相違に配慮した代替食が提供されています。</p>
61	A-1-(2)-②	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	㉠・b・c	
62	A-1-(2)-③	歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	㉠・b・c	
63	A-1-(2)-④	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	㉠・b・c	
64	A-1-(2)-⑤	食事を楽しむことができる工夫をしている。	㉠・b・c	
65	A-1-(2)-⑥	子どもの喫食状況を把握する等して、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	㉠・b・c	
66	A-1-(2)-⑦	子どもの食生活について、家庭と連携している。	㉠・b・c	
67	A-1-(2)-⑧	アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	㉠・—・c	

【A-1-(3) 保育環境】			評価結果	コメント
68	A-1-(3)-①	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	㉠・b・c	■室内・外ともに清潔が保たれ、寝具・砂場・玩具等の衛生管理や施設・遊具の定期点検も行われています。また、四季折々の自然物を取り入れるなど環境についても配慮されています。
69	A-1-(3)-②	生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	㉠・b・c	
【A-1-(4) 保育内容】			評価結果	コメント
70	A-1-(4)-①	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	㉠・b・c	■子どもたちの様々な状況に配慮して受容に努め、各種会議で理解が深められています。また、子どもの気持ちや発達段階に応じて、自分でやろうとする気持ちを大切に育んでいこうという姿勢が見受けられます。 ■子どもが発達段階に応じて自由に遊べるように玩具や遊具が用意され、定期的に玩具の入れ替えがなされています。遊びのコーナーも用意され、充実したままごとコーナーも見受けられます。子どもの自発性を促す言葉かけに配慮され、一緒に遊ぶことも大切にされています。 ■菜園での野菜の栽培やメダカ、クワガタ虫の飼育など自然と日常的に関われる環境が整備され、園外保育でも川遊びなど自然との関わりが大切にされています。また、公共交通機関等を利用した社会見学なども行われています。 ■わらべ歌やさくら・さくらんぼリズム体操、絵画教室など、さまざまな表現活動が体験できるよう取り組まれています。また、絵本の読み聞かせや貸し出しなど、絵本に触れる機会を大切にされています。 ■3才以上児は異年齢児保育を実践されており、年上の子が年下の子のお世話をしている姿や順番を守っている姿が見られます。 ■“一人ひとりの子どもたちを特別な存在として大切にすること”を園の保育の特色に掲げ、互いを尊重する心を育む保育を目指されています。また、役割や色など、性差への先入観を植え付けないようにも配慮されています。 ■乳児保育については、特定の保育者との継続的な関わりに配慮されており、乳児保育経験者が確保されています。乳幼児突然死症候群に関しても、研修を受講され、適切なチェックが行われています。 ■延長保育では、家庭的な雰囲気の中で落ち着いて過ごせるように配慮され、子どもの状況などに関する職員間の引継ぎは記録を通じて行われています。 ■障害児保育については、建物はバリアフリーになっており、計画に沿った保育が実践されています。また、ケース会議や研修により園全体での情報の共有にも努められており、専門機関との連携も図られています。
71	A-1-(4)-②	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	㉠・b・c	
72	A-1-(4)-③	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	㉠・b・c	
73	A-1-(4)-④	身近な自然や社会とかがわれるような取り組みがなされている。	㉠・b・c	
74	A-1-(4)-⑤	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	㉠・b・c	
75	A-1-(4)-⑥	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	㉠・b・c	
76	A-1-(4)-⑦	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	㉠・b・c	
77	A-1-(4)-⑧	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	㉠・b・c	
78	A-1-(4)-⑨	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	㉠・b・c	
79	A-1-(4)-⑩	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	㉠・b・c	
80	A-1-(4)-⑪	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	㉠・b・c	

A-2 子育て支援

【A-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援】			評価結果	コメント
81	A-2-(1)-①	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	㉑・b・c	<p>■送迎時の保護者との会話や、保育の様子を知らせるための連絡帳による情報交換がなされています。また、定期的に個別面談を実施し、内容を記録することで職員間での共有や保育への反映に役立てられています。</p> <p>■年に2回の懇談会での話し合いや、保護者参加による「親子ふれあいリズム・ミニ運動会」などで保育に関する共通理解を得よう努められています。</p> <p>■虐待に関しては、研修を受講し理解を深め、関係機関との連携にも努められています。</p>
82	A-2-(1)-②	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	㉑・ー・c	
83	A-2-(1)-③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	㉑・b・c	
84	A-2-(1)-④	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	㉑・b・c	
85	A-2-(1)-⑤	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所など関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	㉑・ー・c	
【A-2-(2) 一時保育】			評価結果	コメント
86	A-2-(2)-①	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	㉑・b・c	<p>■一時保育専用の部屋があり、担当者による保育が行われています。通常保育の子どもたちと一緒に遊んで交流できるようにも配慮されています。</p>

A-3 安全・事故防止

【A-3-(1) 安全・事故防止】			評価結果	コメント
87	A-3-(1)-①	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	㉑・b・c	<p>■衛生管理マニュアルが整備されており、年2回の研修により職員への周知にも努められています。</p> <p>■食中毒対応マニュアルも整備され、研修等によって職員への周知に努められています。特に嘔吐や下痢へ際には、迅速かつ的確な対応に努められています。</p> <p>■事故防止の視点で園内を毎朝巡回するとともに、施設や遊具等の安全点検チェックリストを作成して定期的な点検にも取り組まれています。また、事例の活用による事故防止への取り組みも行われています。</p> <p>■事故対応マニュアルや災害対応マニュアルも整備され、職員への周知が図られています。</p> <p>■不審者進入対応マニュアルも整備され、各部屋の緊急ボタンにより内外に通報できる設備も設置されています。</p>
88	A-3-(1)-②	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	㉑・b・c	
89	A-3-(1)-③	事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	㉑・b・c	
90	A-3-(1)-④	事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	㉑・b・c	
91	A-3-(1)-⑤	不審者の進入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	㉑・b・c	